



# 校長室だより

## 新年に立てた「願い」を叶えるヒント



明けましておめでとうございます。例年よりやや短めの冬休みを終え、いよいよ2022年がスタートしました。3学期の最初、今年中込中に集う全ての人にとって、学校が更に居心地よく素敵な成長の場所になることを願い、ひとりひとりが新年に決意した「願い」「目標」が叶えられることを願って始業式で以下のような話しをさせていただきました。

### 米ひと粒の努力・継続は力なり

おはようございます。お正月からはしばらく日が過ぎてしまいましたが、新年になって初めて全校が揃ったので、全員で新年の挨拶をしましょう。「明けまして、おめでとうございます。」新しい年にふさわしい清々しい挨拶ができましたね。皆さんの明るい顔と元気な声を聞くことができ、大変嬉しいです。

さて、新年に初詣に行き、今年目標を願って来た人も多いことと思います。しかし、目標は立ててもなかなか達成出来ないと思っている人も多いのではないでしょうか。今日はその様な人のために、どうすれば自分が立てた願いや目標を叶えられるかについて、そのヒントになりそうな話をしてみたいと思います。



①これは何の写真でしょう？そうです。お米ですね。「ひと粒のお米」を拡大した写真です。では次にこの写真は何でしょう？②そうですね。お米がお皿に載っています。このお皿のお米は100粒あります。次にこの写真はどうでしょう？③同じお米の写真ですね。違いがわかりますか？④実は、このお皿のお米は1粒だけ加えられた101粒になっているのです。

見た目にはほとんど分かりませんね。

<裏面に続く>



100粒

130粒



100粒

190粒

⑦  
成果は、  
小さな努力の積み重ねの先に

## 「継続は力なり」

江戸時代（学者）  
新井白石の逸話

ではこの写真はどのように？⑤何か少し増えた様な感じもしますね。ここには実は30粒のお米が加えられています。ちょっと変わった感じもしますね。最後にこの写真はどのように？⑥違いが分かりますか。ここには90粒のお米が加えられています。

3学期の登校日数は50日不足ですが土日も含めれば約3ヵ月(90日)あります。この写真の見た目のように、努力はこのお米ひと粒の様なもので、すぐに変化は見えにくいものです。しかし、毎日お米ひと粒の努力を重ねることで、3ヵ月後位には変化も現れてきます。⑦スポーツでも学習でも大きな成果を出す人は、必ず小さな努力を続けています。「継続は力なり」です。この米ひと粒の努力の話は江戸時代に活躍した新井白石という学者の逸話ですが、苦しくなった時、さぼりそうになった時、迷ったら「米ひと粒の努力」を思い出し、必ず変化は現れると信じ、積み重ねてみましょう。

この3学期は、1年生は尊敬される先輩になるための準備、2年生は中込中の学友会や部活動の大黒柱となる準備、そして、3年生は人生最初の大壁である「高校入試」を乗り越える準備、という大事な3ヵ月間になります。今年もコロナ感染予防は続き、楽しいこと、苦しいこと、つらいこと等沢山あるかもしれませんが、「米ひと粒の努力」を思い出しながら日々を積み重ね、「ピンチをチャンス」に変え、皆で新たな学校生活を創り上げていきましょう。

以上で3学期始業式の話が終わります。

今年も2年が過ぎ、世の中も、そして学校も本格的に「コロナとの共存」(withCORONA)を意識した生活を創り出していくモードに入りました。この2年間で経験したこと、学んだことを生かしながら、生徒と共に更に「コロナ禍での充実した学校生活」を目指し、取り組んでいきたいと考えております。コロナ禍であってもそうでなくても「全ては中込中学校の子どもたちの笑顔のために」、「生徒も先生も、明日も早く行きたいと思う学校づくり」の思いは変わりません。気持ちを新たに今年も全職員情熱をもって取り組んでいく所存です。昨年同様引き続きご支援ご協力をよろしくお願い致します。

(文責：大西孝一)

佐久市立中込中学校

\*ご意見、ご要望、お問い合わせ  
などは、下記までお寄せ下さい。  
TEL 0267-62-0725  
Fax 0267-62-2876